

小池造船海運(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

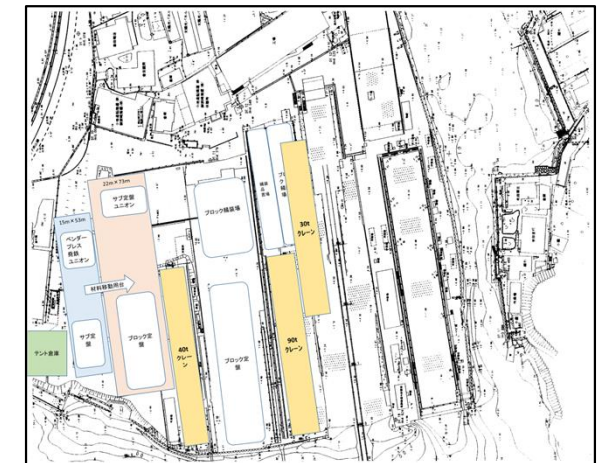
企業概要

- 昭和35年、小型鋼船の建造及び修理を生業として創業。
- 現在は、新造船の建造を中心に実施。本社工場と第二工場の2つの拠点をもち、最大2500総トンの船舶を建造可能。
- 年間で約7隻の船舶を建造し、特に、ガット船(荷役機能付貨物船)については、国内建造件数の40%を誇り、国内トップシェアを誇る。



計画の概要

- これまではクレーンの荷重能力が不足しており、吊り上げることができる船舶のブロックが小さかったため、船台における組立作業が長期化していた。そのため年間の建造量は頭打ちとなり、失注する原因にもなっていた。
- そこで、本社工場に、吊り上げ荷重能力を従来の30tから90tまで増強させた大型クレーンを新たに設置することで、大型のブロックを用いた効率的な組立を行う。
- あわせて本社工場のレイアウトを変更することにより、ブロックの製造工程の効率化を図り、年間約9隻の船舶の建造を目指す。



新工場レイアウト図

<計画実施期間> 2024年7月～2029年3月

<実施場所> 小池造船海運(株) 本社工場(広島県豊田郡大崎上島町)